

みんなでつくろう 人にも自然にも地球にもやさしいまち

6月は環境月間



New 第3次明石市環境基本計画を策定しました

2030年に向けて目指す環境像を定め、環境全般に関する取り組みの基本方針を示しています。



市民ワークショップを4回開催
明石の環境について話し合いました



計画の詳しい
内容はこちらから

環境にやさしい
取り組み
始めてみませんか

- 食品を食べ残さない
- マイボトルやマイバッグを持ち歩く
- 公共交通機関や自転車を使う



計画の4つのポイント

1 脱炭素社会の実現

2050年までの二酸化炭素排出の実質ゼロに向け、再生可能エネルギーの利用推進などに取り組みます

2 循環型社会の実現

プラスチックごみや食品ロスの削減などに取り組みます

3 自然共生社会の実現

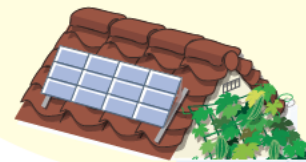
生物の多様性を守り、人と自然が共生するまちづくりを進めます

4 安全安心社会の実現

有害化学物質の監視、騒音などの未然防止に努めます

再生可能エネルギーの導入を進めています

省エネルギーの推進・再生可能エネルギーの利用拡大を図るため設備の導入に補助金を交付します。



補助金について、
詳しくは3面へ

食品ロス削減の推進

余りな食品を買わないこと、買った食品を消費期限内に食べ切ることが、食品ロス削減につながります。また市では、コープこうべが実施しているフードドライブの活動を支援しています。

フードドライブとは...

家で食べ切れない食品を持ち寄り、必要としている福祉団体・施設に寄付する活動です。



約900kg(2600個)の食品が集まり、社会福祉協議会を通じて約30団体に食品が届けられました

コープ朝霧・コープ大蔵谷・コープ西明石・コープ大久保・コープ魚住では食品の寄付を常時受け付けています。

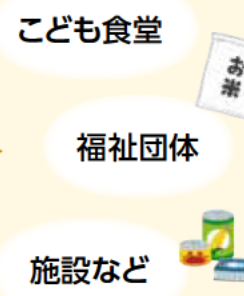
寄付を受け付けている食品
お米、缶詰、レトルト食品など未開封で1か月以上賞味期限が残っている常温保存可能な食品



家庭から食品を持ち寄ります



2021年1月の第6回譲渡会に集まった食品



こども食堂
福祉団体
施設など

エスディーズ
市はSDGs未来安心都市を目指し、持続可能なまちづくりを進め、人にも自然にも地球にもやさしいまちづくりに取り組んでいます。
お問い合わせ/環境創造課 (TEL 918-5786 FAX 918-5586)



277種類の生き物を掲載！ 明石市レッドリストガイドブック ～大切にしたい生き物～

市に生息・生育する生き物のうち、絶滅の危機にあるものや、数が減りこのままでは市内で見ることができなくなる生き物などを写真付きで解説するガイドブックを3月に作成しました。



ガイドブックはこちら



レッドリストガイドブックに
掲載されているアカウミガメ

ウミガメの上陸・産卵のために、市が設置している海岸施設の外灯を消灯します。
場所/林崎・松江・藤江・江井島
期間/8月末まで



気候非常事態宣言を表明

近年、市内でも集中豪雨や大型台風による被害が発生していることを受けて、市は2020年3月に県内初の「気候非常事態宣言」を表明しました。



大型台風



土砂崩れ

気候変動の影響が明石にも



まちを明るく！ 緑化ボランティア

市民ボランティアと協力し、駅前などで花壇づくりを進めています。現在、明石駅前など8か所で活動中です。



JR大久保駅前花壇A



駅前を美しくするだけでなく、みんなが感動するような花壇を目指しています

花壇のデザインはメンバーが交代で作成

家庭用脱炭素化設備導入に補助金を交付します

対象/今年度中に市内の住宅に対象設備を設置、または対象設備が設置された住宅を購入した人

対象設備・補助金額/

- ①家庭用燃料電池・定額3万円
- ②家庭用蓄電池・容量1kWhあたり2万円(上限8万円)
- ③太陽光発電システム・定額6万円(既存住宅のみ)
- ④高断熱窓・窓改修工事費の3分の1(上限5万円・既存住宅のみ)
- ⑤ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)・定額15万円 ※⑤は①～④と重複申し込み不可

申し込み/7月1日～9月30日(消印有効)

に申込書を郵送で環境創造課(〒674-0053 大久保町松陰1131 明石クリーンセンター内 TEL 918-5786 FAX 918-5586)へ。応募多数時抽選。決定者には10月上旬に通知

※申込書は市ホームページに掲載するほか、市役所、各市民センターで配布。詳しくは申し込みは設備の設置前でも可能

こちらから

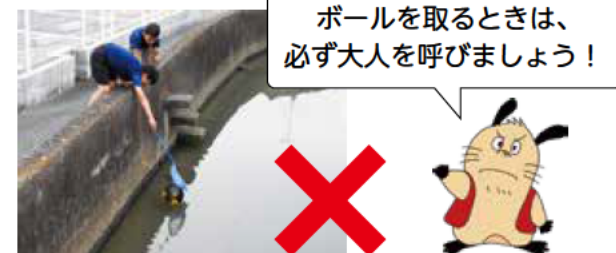
水難事故を防ぎましょう

総合安全対策室(TEL 918-5069 FAX 918-5140)

これからの季節、海水浴場・ため池・河川など、子どもたちが水辺で活動する機会が多くなります。全国で子どもの水難事故が発生しています。子どもたちの命を守るため、家庭や地域で水難事故を防ぎましょう。

子どもたちの命を守るポイント

- ①子どもたちだけで、水辺に近づかせない
- ②家族で出かけたときも、幼い子どもから目を離さない
- ③危険な場所で遊んでいる子どもを見かけたら注意する



ボールを取るときは、必ず大人を呼びましょう！

6月19日は父の日

